



審査会副会長
長谷川 孝子さん
(自営業)

今回はきめ細かい活動がさまざまに展開されています。どれも地域の温かいつながりを感じます。この補助金をきっかけに、さらに活動に弾みをつけば何よりです。ぜひ今後も創意工夫でいろいろなことを考えてください。



委員
竹内 瞳さん
(ひろしま市民活動ネットワーク HEART to HEART事務局長)

パワー溢れるプレゼンテーションを拝聴し、心がワクワクしました！本年度の事業は「あの審査委員がもっとワクワクするように」と考えながら遂行してみましよう。みんなの心がワクワクする事業になりますよ！

審査を終えて



審査会長
野原 建一さん
(広島県立大学名誉教授)

このたびの自治振興区活動促進補助金への応募は10件。補助金の交付総額は、予算の2,500万円の半分にもいきませんでした。予算を使い切るだけの多くの応募を期待しています。そして、庄原をいま以上に元気にしましょう。



委員
上田 正之さん
(広島県社会福祉協議会 地域福祉課長)

イベント系やパンフレット系から地域に根付く活動に軸足が向きつつあるのはうれしい限りです。ただ、1自治会の活動を振興区が申請するといった形が多いように思います。振興区全体の動きが見える申請が増えることを願っています。

地域の活性化に向けて 10事業採択

平成26年度自治振興区活動促進補助金事業

自治定住課自治まちづくり係 ☎ 0824-73-1209

自治振興区が実施する地域課題の解決や、地域づくりなどを支援する「自治振興区活動促進補助金」の、平成26年度採択事業が決定しました。

本年度は、7自治振興区の10事業が採択となり、地域の特色を生かした事業が展開されます。

この事業は、地域の将来像や課題の解決に向けた取り組みなどをまとめた「地域振興計画」に基づき、地域の皆さんが創意工夫を図り実施するものです。本年度も夢の実現に向けて取り組まれています。

平成26年度庄原市自治振興区活動促進補助金採択事業一覧

地域	振興区	事業名	事業内容	補助金交付決定額(円)
庄原	庄原自治振興区	美湯ハイツ自治会情報共有推進事業	住民の往来が多い2カ所に掲示板を設置し、掲示板を利用して地域住民の各種活動報告や、自治会の行事などを常時掲示し、情報共有の場として活用する。	169,000
		川手中自治会高齢者生活支援事業	川手中集会所にエアコンを設置することにより、夏・冬を通して高齢者がサロン活動しやすい環境を整え、自治会活動の促進につなげる。また、住民の情報共有を行い、高齢者の安否確認の一助とする。	374,000
	山内自治振興区	山内ブランド米出荷販売施設整備事業	ブランド米として確立しつつある地元産米「里山の夢」を、さらに販売促進するため、色選機と保冷庫を整備し、ブランド米の品質向上を狙う。	2,308,000
	北自治振興区	川西自治会デイホーム活動促進事業	3自治会でやっているデイホームや老人サロンの実施場所になっている集会所にエアコンを設置し、特に夏場の利用促進を図る。	438,000
	東自治振興区	食文化の掘り起こし事業	振興区に製粉機を整備し、昔ながらの食品作りを行うとともに、世代間交流や食文化の伝承の場を創出する。	184,000
西城	西城自治振興区	げん輝な里公園整備歩道開設事業	げん輝な里公園に草刈り用の足場2段を設置し、斜面の管理の安全性を高める。また、倒木の可能性のある枯木を撤去し、市民の憩いの場としてさらなる活用を図る。	335,000
		西城自治振興センター薪ストーブ設置事業	西城の面積の大半を占める森林の有効利用と自然環境を保持するため、自治振興センターに薪ストーブを設置し、薪の買い取り、センターの利用促進、バイオマスエネルギーの活用啓発などを行う。	1,453,000
		熊野コギ養殖池建設事業	「神話の里」くまの自治会でコギ養殖に取り組んでいるが、現在の養殖数(4000匹)では採算性が低いため、熊野コギ養殖場を増築し、コギの生産量を増やす。コギの土産品を開発し、イザナミ茶屋への供給量を増やすことで、地域住民が観光産業で収入が得られるようにする。	3,000,000
東城	田森自治振興区	田森ものがたり推進事業	高齢化が進み、世代間で伝統文化や民俗への意識に大きな差が生じてきていることから、伝統文化や民俗の伝承が危惧されている。そこで、地域の名所・旧跡(17カ所)を示すのぼりと、地域の特徴的な地形である河岸段丘の看板を設置し、地域はもとより来訪者にもわかりやすく親しんでもらえる地域づくりを進める。	727,000
総領	総領自治振興区	地域ぐるみの教育プロジェクトによる未来志向の地域活性化事業	振興区の掲げる3つの福祉・教育・定住のプロジェクトのうち、連携・調整・コンセプトの整理が不十分となっている教育プロジェクトについて、地域ぐるみのプロジェクトチームを編成し、既存の事業の整理と調整を行い、アクションプランを策定し、効率的で効果的な事業運営を進める。	429,000
総合計				9,417,000

Pick UP

庄原自治振興区美湯ハイツ自治会 情報共有推進事業



美湯ハイツ(宮内町)は、開発されて20年になる新興住宅団地で、現在160世帯、約500人が生活しています。

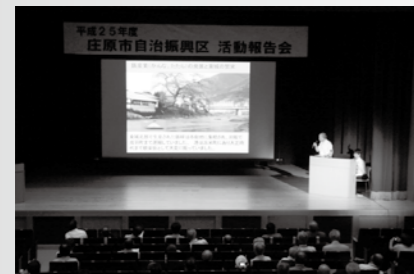
しかしながら、市営住宅・アパートに暮らす約60世帯の方が自治会に加入していないため、さまざまな情報が各戸に配布する文書や総会だけではなかなか伝わりにくいことが課題となっていました。

美湯ハイツ自治会では、今回整備した掲示板を通じて、永末小学校のお便りや振興区便り、行政の文書などに加え、自治会のイベントや団地環境推進活動、災害時における避難場所など、皆さんに知っておいてほしいさまざまな情報を共有し、自主防災組織の活動の周知にも有効活用したいと考えています。自治会長の坂田虎美さんは「犬や猫の糞や餌の放置の問題などもあるので、掲示板を使おうとマナーの注意喚起をしたいと思っています。自治会員だけでなく、市営住宅や特別養護老人ホームなどの入居者全員が必要な情報を共有し、住みやすい環境を作っていきたい」と話しています。



自治振興区活動報告会を開催
自治振興区活動の報告会が7月27日、東城自治振興センター・東城文化ホールで開催されました。
昨年度、自治振興区活動促進補助金を活用し、地域づくりに取り組んだ自治振興区(13自治振興区15事業)が、その内容をポスターにして紹介したほか、5自治振興区がステージで発表しました。
会場には大勢の方が訪れ、自分たちの地域活動に生かそうと活発に情報交換していました。
野原建一審査会長(広島県立大学名誉教授)は「大変良い発表だった。

地域の新しい振興のためや参加しやすい環境づくりなど課題に取り組む中で、庄原市の親切でやさしい心が地域の情報と結びつけ発信することが大切。地域外からの厳しい言葉にもぜひ耳を傾け、地域の発展振興に努力を積み重ねられることを期待する」と講評を述べました。



ステージで地域の紹介とともに実績を発表

今年の審査会では、若い代表の方が多く頼もしく感じた反面、女性の説明者が一人もいなくて残念でした。さまざまな活動は、地域の実情を反映していると感じました。特色ある活動に補助金を役立ててください。



審査会副会長 長谷川 孝子さん (自営業)

審査会で若い方々が説明されるケースも出てきました。やりたい事を、やりたいと思うご本人がお話しされると、より強い説得力を感じます。次回はぜひ女性の皆さんの熱い思いも伺いたいものです。期待しています！



委員 竹内 瞳さん (ひろしま市民活動ネットワーク HEART to HEART 事務局長)

地域にかかわってきた人たちが少しでも地域のお宝を多くの人に知らせ、それを良くしたいという熱気が伝わってきました。同時にこの熱気を長く続けたい気持ちも伝わってきました。女性と男性の知恵と力を集め、これからもわかりやすい地域活性化に力を尽くしましょう。



審査会長 野原 建一さん (広島県立大学名誉教授)

地域が自ら考え、自ら行動を起こす地域づくりは庄原市のみならず、日本のこれからの有り方を示していると思います。地域の思いに行政施策がマッチした民間協働のまちづくりを進めるためにも、住民主導であるべきですが、行政からも地域と共に歩むアイデアもほしいところです。



委員 上田 正之さん (広島県社会福祉協議会 地域福祉課長)

■審査会を終えて

自治振興区が実施する地域課題の解決や、地域づくりなどを支援する「自治振興区活動促進補助金」の本年度採択事業が決定しました。
申請された9自治振興区15事業全てが採択となり、地域の特色を生かした

事業が展開されます。
この事業は、地域の将来像や課題の解決に向けた取り組みなどをまとめた「地域振興計画」に基づき、地域の皆さんが創意工夫を図り実施するものです。

自治振興課自治振興係 0824-73-1209

夢の実現に向け
9自治振興区15事業が採択

平成25年度 自治振興区活動促進補助金事業

●平成25年度 自治振興区活動促進補助金採択事業一覧表

地域	自治振興区名	事業名	事業内容	補助金交付額
西城	八鉾自治振興区	「ゆうき市」餅切機導入事業	年間600*。生産している餅の加工作業を簡素化・省力化するため、餅切機を導入する。年末の需要に対応するとともに、後継者の育成と農業を中心とした地域の活性化を目指す。	898,000
		八幡自治振興区	森湯谷エドヒガン周辺第3期整備事業	森湯谷エドヒガンの観光客受け入れのため、遊歩道・駐車場盛土・進入路舗装・安全柵設置・排水路整備・ため池底樋・案内板を設置する。
東城	八幡自治振興区	ふれあい公園「東屋」建築事業	自然公園に東屋を設置し、憩いの場として活用する。	436,000
		田森自治振興区	田森ものがたり推進事業	田森地域のお宝案内看板、多飯が辻山の案内看板を設置し、誘導看板の整備、お宝の掘り起こし活動資料整備やガイドブック作成準備、散策コースの選定をする。
	久代自治振興区	久代自治振興区通信ネットワーク整備事業	通信機能を持つ複合コピー機を自治振興区に導入するとともに、支部長宅や集落の代表者宅にFAXを設置し、緊急時の連絡手段を確保する。	734,000
比和	比和自治振興区	比和上組集会所周辺整備事業	集会所の敷地の舗装と隣接地の無償提供により進入路を拡幅し、地域行事を充実させる。	904,000
		布見地区作業田植の実施と桜並木整備事業	布見作業田植えを実施するための備品の整備と、桜植栽による並木を整備し、地域の活性化を図る。	375,000
		古家真屋敷跡地活性化事業	古家真屋敷跡を整備し、地域の憩いの場、観光スポットにする。	2,707,000
総領	総領自治振興区	稲草西出店調理器具整備事業	イベントなどへの出店経費の削減と各種行事での利益を確保するため、調理器具を整備し活動を充実させる。	297,000

地域	自治振興区名	事業名	事業内容	補助金交付額
庄原	東自治振興区	歴史文化カルタ作成事業	東地区歴史マップを活用した「歴史文化カルタ」を作成する。子どもたちがカルタ遊びを通じて、東地区の歴史文化を学び、地域住民との交流を図る。	388,000
		ノルディックポール事業	持続可能な健康づくりとして、ノルディックポールを使用したウォーキングに取り組む。健康寿命を延ばし、子どもから高齢者までがお互いに理解と交流を深める。また、歴史マップを使ったコース設定を行い、郷土の四季を楽しみながら、文化への理解を深める。	180,000
		世代間交流事業	夜間に行事ができるよう自治振興センターに野外照明を設置する。また、ステージを軽量の鉄パイプ製にすることで設営労力を軽減し、行事の内容充実により労力を傾けて、伸び悩む参加者の増加と世代間の交流を図る。	683,000
山内自治振興区	山内自治振興区	山内ブランド米「里山の夢」インターネット直販事業	関西で高い評価を受けた食味条件を満たす地元産米のインターネット販売を促進するため、受注後速やかに発送できるよう、効率的で正確な計量、検査、精米、包装ができる機器を整備し、農家所得の向上につなげる。	3,000,000
		行里地域の町づくり推進事業	集会所のトイレをバリアフリー化し、グラウンドにつながるスロープを設置して、高齢者が利用、参加しやすい環境を整える。これにより地域の中心企画であるサロンへ積極的な参加を可能にし、世代間の一体感を醸成する。	2,732,000
北自治振興区	北自治振興区	門田集会所改修工事	市から委託を受けているデイホーム事業による介護予防の推進や社会的孤立の解消など共助の醸成を図るため、会場となる集会所を改修する。高齢者の参加率を高め、活動しやすく過ごしやすい環境を整備し活動を充実させる。	337,000

総合計 17,727,000円



審査員からのメッセージ

審査会長 野原 建一さん
(広島県立大学名誉教授)

市民の地域活動は、その熱意がどこまで住民の賛同を得られ、男女問わずどこまでその活動に参加できるかにかかっています。つまり、住民の賛同が得られていれば、その活動は成功していると言えるでしょう。その意味で皆さんの事業は地域活動を促進し、地域活性化に結び付くものと高く評価できます。

これからは、庄原市に新しく移って来た住民の方々や若い人たちにも参加してもらい、意見を出していただけるような環境づくりが大切です。そのためには皆さんの要望を聞きながら、分かりやすい計画づくりが大切です。皆さんが参加でき、企画できる地域活動こそが活性化の原点になります。

委員 上田 正之さん
(広島県社会福祉協議会 地域福祉課長)

庄原市の現状を思うとき、地域自らが地域を創造していくことが不可欠だと思っています。その中で「攻めること」と「守ること」が必要だと思います。観光や生産活動などの「攻め」、地域での子育てや高齢者等の見守り支え合いなどの「守り」、この2つの要素が地域に求められていると思います。そういった視点で審査に臨みました。誰かに任せるのではなく自ら創る地域づくり。共に頑張りましょう。

審査会副会長 長谷川 孝子さん
(自営業)

今年もさまざまな活動の取り組みに接し、地域の熱い思いを聞くことができました。少子高齢化の中でも、地域のみんなが元気になる取り組みは何か。身近なところで工夫され、地域の特徴を生かした活動に感銘を受けました。輪が広がることを願っています。

委員 竹内 瞳さん
(ひろしま市民活動ネットワーク HEART to HEART 事務局長)

どの活動からも「わが地域を愛し、残したい、伝えたい！」という気持ちが伝わってきます。その熱い気持ちを地域の内外の皆さんに浸透させていきましょう。気持ちに気づき、共感し、賛同する人こそ、活動への参加者や協力者になってくれる人です。1年間大変ですが、「よう頑張った！」と報告会で聞けることを楽しみにしています。

■自治振興区活動のポスター巡回展示を行います。

- 東城地域：9月10日(月)～14日(金)8時30分～17時30分
東城支所
- 比和地域：9月18日(火)～24日(月)8時30分～17時30分
比和自治振興センター
- 庄原地域：9月25日(火)～10月1日(月)8時30分～17時30分
市役所本庁舎
- 高野地域：10月2日(火)～5日(金)8時30分～17時15分
高野支所
- 口和地域：10月18日(木)～22日(月)8時30分～17時15分
口和自治振興センター

※総領・西城地域は既に終了しています。



巡回展示の様子

しかけ 16の“種”を育てる

平成24年度自治振興区活動促進補助金事業

自治振興課自治振興係 ☎0824-73-1209

自治振興区が実施する地域課題の解決や、地域づくりなどを支援する「自治振興区活動促進補助金」の、平成24年度採択事業が決定しました。

本年度は、14自治振興区、16事業が採択となり、地域の特徴を生かした事業が展開されます。

この事業は、地域の将来像や課題の解決に向けた取り組みなどをまとめた「地域振興計画」に基づき、地域の皆さんが創意工夫を図り実施するものです。

平成24年度庄原市自治振興区活動促進補助金採択事業一覧表				(円)
地域	自治振興区名	事業名	事業内容	補助金交付額
庄原	山内自治振興区	竹ベレット製造・作業施設事業	竹パウダーを2年間に渡り研究し、良質米栽培や区民への周知・利用拡大を進めてきた。本年度はこれをベレットにすることで、ほ場散布の労力を軽減し、栽培面積の拡大を図り、ブランド米の生産・販売の拡大を図る。	3,000,000
	峰田自治振興区	里山公園づくり事業	峰田地域振興計画の重点プロジェクトの1つである「里山公園」の拠点となる建屋を建設し、世代間交流の場として活用する。山の中での遊び場づくりとして建屋の裏山を伐採する。	2,660,000
	敷信自治振興区	定住促進事業	これまで5年間に渡り、登録対象者へ数信情報工房や広報しょうばらなどを送付し、諸行事へ参加を呼びかけてきた。本年度は新たに若い層を対象とした名簿の作成と各種情報発信を行う。	254,000
西城	西城自治振興区	ふれあいサロン等交流拠点施設利用促進事業	地域福祉と交流の拠点である大屋多目的研修集会所をバリアフリー化し、ふれあいサロンの充実・参加者の拡大(車椅子の利用者)、世代間交流、農業体験交流事業などを実施する。	793,000
		水車(添水)改修事業	地域の主要な伝承文化財として位置づけられているグリーンピア大佐村の水車は、平成4年の建設以来20年が経過し、腐食がひどく稼働できない状況になっているため鉄製に改修する。この水車を主要スポットに位置付け、子どもたちの遠足やツーリズムなどに役立てる。	697,000
東城	新坂自治振興区	中世山城跡・近世道標説明板等設置事業	地域にある、中世期山城跡や近世道標の説明板・案内板などを整備し、観光振興と地域住民が交流できる場をつくる。	960,000
	福代自治振興区	ふるさとふくしろの歴史と文化の記録整備「福代郷土誌編纂」事業	地域全体に公募した編纂委員会により、福代郷土誌を編纂する。また、ビジュアル化したDVDも併せて作り、地区住民はもとより、地域出身者で地区外在住の人たちにもふるさとを理解してもらい、郷土意識の向上とUターン帰郷などに結び付ける。	756,000
		東城中町自治振興区	地域活動を活発にするための備品の整備事業	市街地でのイベントや伝統行事、地域の親睦活動などに使用する備品(テント・テーブル・イス)を整備し、地域内の交流・親睦を図る。また、地域出身者との交流・交歓会などを開催し、商店街をはじめ地域の活性化が期待できる。
	上町自治振興区	人が集い人が輝くオンリーワンの上町事業 東城市街地文化財回遊ロード創設事業	世直神社にある「常夜灯」を、寛政11年に建立されていた大橋近くに移動し、文化財回遊ロードを創設。新たな観光スポットとして整備する。	2,698,000
	田森自治振興区	田森「花いっぱい」運動	花の苗・プランターを会員に配布し、一定期間育て、各拠点施設などへ持ち寄り花で飾る。これにより、自治振興区活動について考える一助になると共に、地区民・他地区民へ、心豊かで住みよい美しいまちづくりに取り組んでいる姿勢と地域の連帯意識を発信する。	263,000
		ホームページ開設事業	ホームページを開設し、地域の行事などを地域内外へ発信し、地域内の次世代や転出者、地域外の人へ興味と関心を持ってもらう。	240,000
	帝釈自治振興区	帝釈地域活性化事業	帝釈ウォークや帝釈もみじまつりなど、野外でのイベントを効率的に実施するための備品(テント・机)を購入する。	730,000
	八幡自治振興区	森湯谷エドヒガン周辺第二期整備事業	八幡の宝である森湯谷エドヒガンへの観光客受け入れに必要な、駐車場整備および桜の根を保護するための保護柵を拡大する。	3,000,000
口和	口和自治振興区	黒岩城址整備事業	黒岩城址保存会と大目自治会がタイアップし、黒岩城の歴史冊子を編纂。併せて幟の作成やガイドの育成も行い、歴史継承と地域資源として活用する。また、ぼたる見公園やモーモー物産館とも連携し、交流人口の増加による「喜びと活気を感じる住みよい地域づくり」を目指す。	1,132,000
高野	下高自治振興区	食のまちおこし事業	地元農産物を活用した特産品開発を進めるため、下高自治振興センターの調理実習室に厨房機器を整備し、地域資源の有効活用や食文化の伝承など、地域コミュニティ活動の活性化を図り、地域の元気を創出する。	1,531,000
比和	比和自治振興区	古家真屋敷跡地活性化事業	地域の歴史であり、宝でもある広い古家真屋敷跡地を活用し、地域の活性化、仲間づくり、世代間交流の場を整備。観光スポットとしても広くPRする。	176,000
総 合 計				19,230,000



熱心に聞き入る参加者

みんなで高める

地域のチカラ

自治振興区活動報告会を開催

自治振興区活動の報告会が7月21日、総領自治振興センターで開催されました。

昨年度、庄原市自治振興区活動促進補助金を活用し、地域づくりに取り組んだ自治振興区(13自治振興区19事業)が、その内容をポスターにして紹介するほか、6自治振興区がステージで発表しました。会場には、次年度の地域活動に生かそうと大勢の方が参加し、活発に情報交換しました。

野原建一審査会長(広島県立大学名誉教授)は「どの事業も地域の活性化を真剣に考え、取り組まれていた。住民一人一人が提案者でもある。役

員だけでなく、多くの住民にも発案してもらえらるよう、またその意見をしつかりと取り込めるような体制づくりを行い、全員で地域活動に取り組みでいたいただきたい」と講評を述べました。

地域づくりの

ヒントを見つけろ

自治振興関係事業活動報告集を発行

平成23年度の自治振興活動をまとめた「自治振興関係事業活動報告集」が完成しました。

各自治振興区が地域課題の解決や夢の実現に向けて取り組んだ活動を紹介。各種補助金の活用事例やネットワーク講座の内容などを収めた、これからの地域づくりに役立つ1冊です。

この報告集は、市ホームページのほか、市役所または各支所などでも閲覧できます。

1部500円で販売していますので、ご希望の方は自治振興課(☎0824-1731-1209)または各支所自治振興係までお問い合わせください。



耕地・山地の重複地番解消へ

本年度から山地番の地番変更を行います

広島法務局不動産登記部門 ☎082-228-5741

広島県では明治以来、宅地などの耕地に1番から順に地番(耕地番)が付けられています。しかし、山林などの山間地にも同じように1番から順に地番(山地番)が付けられたため、同じ大字(地番区域)内の耕地と山地間にも同じ番地がある「重複地番」が多く存在しています。

このため、法務局が提供している登記情報提供制度(インターネットで不動産登記情報などが確認できる制度)や各種申請・届出のオンライン申請などのサービスを利用すること、重複地番の存在を知らないことによる誤入力や、物件入力ができないなどのトラブルが発生しています。

そこで広島法務局は、不動産に関する権利を保全し、安全円滑に取引ができるようにするため、山地番の地番変更を行います。

本年度は次の地域で変更を行い、その他の地域についても来年度以降計画的に行います。

○本年度地番変更をする区域
西城地域内の12地番区域
西城町大佐、入江、栗、平子、中野、八鳥、熊野、中迫、小鳥原、油木、三坂、高尾

○地番変更の方法
原則として山地番に、それぞれ『5000』を加える方法によつて行います。

例	115番
変更前	↓
変更後	5115番

- 地番の変更時期
本年9月から12月にかけて順次地番区域ごとに変更する予定です。
- 所有者には
変更通知書を送付します
地番を変更後、法務局から登記簿に記載されている所有者あてに地番変更通知書を送付します。